

ぜひ知っておきたい認知症事業



小樽オレンジかふえおさんぽカフェ店（令和6年2月撮影）

小樽オレンジかふえ（認知症カフェ）

小樽オレンジかふえ（認知症カフェ）は、認知症の方とその家族や地域住民の方などが集まる「つどいの場」です。令和6年6月時点で市内6か所で開催されています。（左側のページの写真は銭函で開催されている、小樽オレンジかふえ「おさんぽカフェ」でのイベントの様子）

参加者の皆さんで温かいコーヒーなどを飲みながら、団らんや情報交換などをして楽しい時間を過ごしませんか。



相談がある方は、カフェにいる認知症ケアの経験がある専門職にいつでも相談できます。みなさまのお越しをお待ちしています。



認知症予防教室

65歳以上の方を対象に、簡単な計算や読み書き、塗り絵など、認知症予防を目的とした脳の活性化を促す教室を開催しています。「最近物忘れが気になる」「認知症を予防したい」など、関心のある方は、教室に参加してみませんか。

参加者募集は、広報おたるなどでお知らせします。

認知症講演会

認知症についての正しい知識や理解の普及啓発のため、年に1回、「小樽認知症の人を支える家族の会」などと共催で講演会を開催しています。

詳細は、広報おたるなどでお知らせします。

認知症初期集中支援チーム

40歳以上の方で認知症の疑いがあり、医療や介護のサービスを受けていない、又は中断している方などに地域の医師と医療・介護の専門職がチームとなって支援します。市や地域包括支援センターにお気軽にご相談ください。

認知症サポーター養成講座

認知症を正しく理解し、認知症の方やその家族を温かく見守り支援する応援者を「認知症サポーター」といい、市は認知症サポーター養成講座を開催しています。対象となる方は、原則10名以上で町内会等の地域団体、企業、学校、お友達同士の集まりなどです。時間は60～90分程度で受講料は無料です。



認知症サポーターステップアップ講座

認知症であるために、生活の様々な場面で暮らしにくさを抱えている方がいます。ちょっとした手助けがあれば認知症の方や家族は、もっと安心して暮らしていくことができます。

市では、認知症サポーターを対象に、認知症について更なる理解を深めるための認知症サポーターステップアップ講座を開催します。詳細は広報おたるなどでお知らせします。

チームオレンジ

認知症の方や家族の支援ニーズと認知症サポーターを中心とする支援者をつなぐ仕組みを「チームオレンジ」といいます。地域包括支援センターでは、若年性認知症の方への支援も実施しております。地域包括支援センターに、お気軽にご相談ください。



認知症介護経験者による認知症相談会



「徘徊の対応、どうしたらいいの?」、「介護保険の相談、どこに行ったらいいの?」、毎日の介護の大変さ、男性介護者の悩みなどについて小樽認知症の人を支える家族の会の方々がご相談に乗ってくれます。

介護で気持ちが疲れた時、少しでも気持ちが軽くなれるよう、介護を経験された方々が親身になって話を聞いてくれます。開催場所、日時は広報おたるなどでお知らせします。



問合せ先

福祉保険部福祉総合相談室地域包括ケアグループ
TEL32-4111(内線313) FAX33-1128